

「川越まつり」とは

歴史 370年以上の伝統を誇る都市祭礼

「川越氷川祭の山車行事」として平成17年2月、国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年12月「ユネスコ無形文化遺産」に登録された川越まつり。慶安元年(1648)、当時の川越藩主である松平信綱が、氷川神社に獅子頭や神輿などの祭礼用具を寄進したことに始まります。それから3年後、神輿行列が初めて町内を渡御。その行列の後を、町人たちは供奉しました。これが、現在の川越まつりのルーツです。当時、新河岸川舟運によって江戸との交流が深かった小江戸川越。祭りの形態は江戸天下祭の影響を強く受け、絢爛豪華な山車が曳き廻されるようになります。江戸の祭りは神輿主体に変わりましたが、川越まつりはかつての江戸天下祭の様子や風情を今に伝えています。

曳っかわせ 迫力のクライマックス

川越まつり最大の見どころの一つ。山車が他の山車とすれ違う時、山車の正面を向け、町どうしの挨拶として曳っかわせ(囃子の儀礼打ち)を行います。交差点などでは複数の山車が集まり、舞台が回転して囃子の競演を行う様子が圧巻です。特に夜の曳っかわせは、曳き手が提灯を掲げ、囃子方への声援が飛び交い、まつりのムードは最高潮に達します。



■ 車両通行禁止(10:00~22:00) ■ 神幸祭ルート ■ 交通混雑区域
 ※悪天候時は山車が曳行されない場合があります。
 ★周辺道路はたいへん混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。

見どころ

14 宵山(ひいやま)

●18:00~19:00頃

山車に提灯が灯り、居囃子を披露。山車やお囃子をじっくり楽しむことができます。



14 鳶のはしご乗り(とびのはしごり)

●18:20~18:40頃

鳶職人の妙技が披露され、技が決まる度に観客からは大きな拍手と歓声が上がります。



14 15 曳っかわせ(ひっかわせ)

●18:00~19:00頃

山車が出会うと正面を向き合わせ、囃子の競演が始まります。周りの曳き手は激しく提灯を掲げ、まつりは最高潮に盛り上がります。



15 神幸祭(じんこうさい)

●10:15 川越氷川神社出御
 ●11:45頃 川越氷川神社還御

氷川の神様が神輿に乗られて町を巡行することで、その御神徳をいただき、幸福と町の繁栄を祈請するという、現在の山車行事の原型となった伝統儀式です。



15 市役所前山車巡行(しやくしょまへさんぐる)

●13:30~15:30頃

市役所前を山車が巡行します。一か所で多くの山車を見ることができます。

※市役所前の山車揃いは行いません。



川越へのアクセス

- 大宮~ JR川越線/約20分(川越駅下車)
- 池袋~ 東武東上線川越特急
約26分(川越駅下車)/約28分(川越市駅下車)
- 新宿~ JR埼京線(新宿駅)快速/約50分(川越駅下車)
西武新宿線(西武新宿駅)特急/最約44分(本川越駅下車)
- 横浜~ 東急東横線・東京メトロ副都心線・東武東上線
最約78分(川越駅下車)/最約80分(川越市駅下車)

